

年途中で退職した方の記載例

給与所得のみの方で、年末調整を受けていない場合

手順1
7ページ参照

手順2
8ページ参照

手順3
12ページ参照

〇〇 税務署長 29年2月16日 平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A		FA0112
住所 (又は居所) 〇〇市△△町X-XX-X	個人番号 XXXXXXXXXXXXXX	フリガナ コクセイ タロウ
平成29年1月1日の住所 同上	氏名 国税 太郎	性別 男
	生年月日 3581102	世帯主の続柄 本人
	電話番号 XX-XXXX-XXXX	印 国税

収入金額等 (単位は円)		課税される所得金額 (21)	277000
給与 (7)	2115560	上の(21)に対する税額 (22)	13850
公的年金等 (4)		配当控除 (23)	
雑所得 (2)		(特定増改築等)区 住宅借入金等特別控除 (24)	
配当 (1)		政党等寄附金等特別控除 (25)	
一時 (3)		住宅ローン特別控除 (26)	
合計 (1+2+3+4)	1298400	所得税及び復興特別所得税 (27)	13850
所得金額		災害減免額 (33)	
給与 (1)	1298400	再索引所得税額 (34)	13850
雑所得 (2)		復興特別所得税額 (35)	290
配当 (3)		所得税及び復興特別所得税の 額 (36)	14140
一時 (4)		外国税額控除 (37)	
合計 (1+2+3+4)	1298400	所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額 (38)	67850
社会保険料控除 (6)	590497	所得税及び復興特別所得税の 額 (39)	00
小規模企業共済等掛金控除 (7)		申告納税額 (40)	53710
生命保険料控除 (8)	50000	延納届出額 (45)	000
地震保険料控除 (9)		その他の 延納の届出 (46)	
寡婦・寡夫控除 (10)	0000	配偶者の合計所得金額 (41)	
勤労学生・障害者控除 (11)	0000	所得税・復興特別所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額の合計額 (42)	
配偶者(特別)控除 (12)	0000	未納付の所得税及び復興特別 所得税の源泉徴収税額 (43)	
扶養控除 (14)	0000	申告期限までに 納付する金額 (44)	00
基礎控除 (15)	380000	延納届出額 (45)	000
(6)から(15)までの計 (16)	1020497		
雑損控除 (17)			
医療費控除 (18)			
寄附金控除 (19)			
合計 (16+17+18+19) (20)	1020497		

還付される税金の所	〇〇	金庫・組合 農協・協協	〇〇	本店・支店 出張所 本所・支所
郵便局名等		預金 種類	〇	
口座番号 記号番号	XXXXXXXXXX			

区分 異動 管理 補元 納管	A B C D E F G H I J K L	通信 日付印	年月日	確認 番号
事務 主任 任員 検査				

手順4
22ページ参照

手順5
26ページ参照

手順5
26ページ参照

マイナンバー（個人番号）を記入する必要があります。

明治・・・「1」
大正・・・「2」
昭和・・・「3」
平成・・・「4」

該当する事項がある方のみ記入します。

還付される税金がある方のみ記入します。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから記入します。
- ◎ 申告書は、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
※ この記載例では、記入した部分を便宜上青色で表示しています。
- ◎ 申告書の該当する箇所は必ず記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- ◎ この記載例では、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを示しています。詳細については、「平成28年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」を参照してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にならって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にならって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にならって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例①

縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例②

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

記入例③

8	0	0	0	0
7	0	0	0	0

年途中で退職した方の記載例

(所得控除の内訳)

国民健康保険料 (税) 182,060 円
国民年金保険料 113,820 円
旧生命保険料 120,000 円

手順1
7ページ参照

手順2
8ページ参照

25ページ参照

手順6
27ページ参照

平成 28 年分の 所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 〇〇市△△町X-XX-X
氏名 コベ タロウ 国税 太郎

所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収額
給与	〇〇産業株式会社	2,115,560	67,850

所得税及び復興特別所得税の源泉徴収額 67,850

社会保険の種類	支払保険料	掛金の種類	支払掛金
源泉徴収(おと)	294,617		
国民健康保険	182,060		
国民年金	113,820		
合計	590,497	合計	

⑧ 新生命保険料の計	旧生命保険料の計
	120,000

⑨ 雑所得(公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項			
所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

扶養親族の氏名	続柄	生年月日	別居の場合の住所
16歳未満の扶養親族			

損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類など
⑪ 雑損控除		

⑫ 支払医療費

⑬ 寄附金の控除

第二表(平成二十八年分以降適用) (課税標準額を繰り出すときは) (海外所得) (国民健康保険料や国民年金保険料の支払証明書を添付しなければならない(書類は添付書類を紙面に貼る))

手順3
12ページ参照

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票（原本）」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。

(参考) 「給与所得の源泉徴収票」

平成28年分 給与所得の源泉徴収票

支払 を受ける 者	住所 又は居 所	〇〇市△△町×-××-×										(受給者番号)
												(役職名)
		氏名 (フリガナ) コクゼイ タロウ 国税 太郎										
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の合計額	源泉徴収額								
給与・賞与	千円 2115	円 560			千円 67	円 850						
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)			16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)	非居住者である親族の数					
有 配偶者	千円	円	人 特定	人 従人	人 従人	人 従人	人 特別	人 其他	人	人	人	
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額						
千円 294		円 617										
(摘要)												
生命保険料の金額の内訳		円		円		円		円		円		
住宅借入金等特別控除の金額の内訳		円		円		円		円		円		
控除対象配偶者		氏名		区分		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		旧長期障害保険料の金額		
控除対象扶養親族		氏名		区分		16歳未満の扶養親族				(備考)		
未成年者		氏名		区分		中途退職		受給者生年月日				
氏名		区分				就職 退職		年 月 日		明 大 昭 平 年 月 日		
氏名		区分				○ 28 5 31		○		58 11 2		
支払者		住所(居所)又は所在地 〇〇区〇〇×-××-×										
氏名又は名称		〇〇産業株式会社 (電報) ××-×××××-××××										